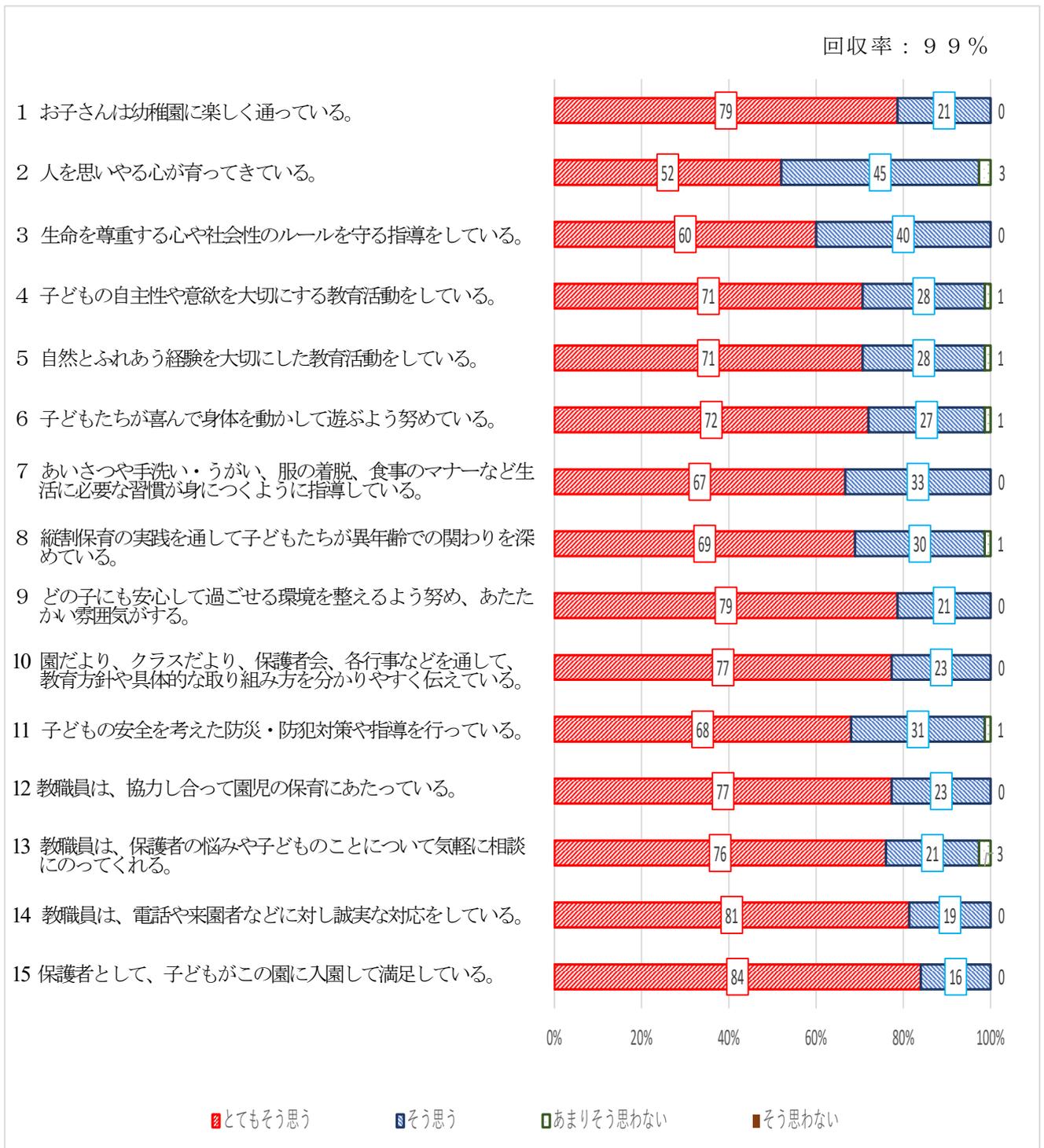


土崎幼稚園に関する利用者アンケート調査結果

昨年の12月に実施しました保護者アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。集計結果からは、本園の教育・保育について保護者の皆様から高い評価を得ていることが分かり、これを励みに、ますます子どもたち一人ひとりに安全を第一に考え、笑顔と優しさで向き合い、子どもの主体性や自ら考える力が育っていくように促していきたいと思っております。

また、いただいた貴重なご意見やご感想については、更に求められる認定こども園土崎幼稚園として真摯に受け止め、要望等については職員で話し合い、園としての考えを述べさせていただきます。今年度はコロナ禍で制限された保育活動でありましたが、皆様からのご理解で新しい園外行事を行うこともできました。残り少ない今年度ですが、引き続きよろしくごお願い申し上げます。



【いただいたご意見】

<安心・安全について>

- ・親子共々安心して毎日を過ごせることに感謝している。
- ・年少～年長までクラスの先生が2人体制だったのがよかった。子どもに目が行き届いていると安心感があつた。
- ・先生のことが大好きで毎日とても楽しそうに登園している。担任の先生はどんな小さなことでも向き合ってくれて、言葉も選んでくれているのがすごく伝わってくる。
- ・コロナ禍の大変な状況の中でも、先生方が子ども一人ひとりに配慮してくれ、本当に感謝している。

<行事等について>

- ・コロナ禍で例年通りの行事が出来ない中、それ以上に楽しい企画をして園外保育等に連れて行ってもらう子ども達はとても喜んでいる。親としてもとても感謝している。
- ・子ども第一に日々の生活や行事を行ってくれ、感謝している。
- ・現在の厳しい状況の中、子どもが喜ぶようなイベント、遊びを毎回工夫して考えてもらい感謝している。
- ・コロナ禍でも運動会や発表会など、子ども達が最後の園生活で楽しい思い出を作ることができている。
- ・来年度も引き続き、行事の開催をお願いしたい。

<子どもへのかかわりについて>

- ・先生達が子ども達一人ひとりをよく見てくれている。
- ・先生達が全学年の子どもの名前を覚え声かけをされていてすごい。
- ・先生方の対応・子どもに対する接し方に好感をもっている。子どもが楽しく通えている。
- ・生活の仕方や友達とのかかわりなど、これからも園と協力して見守っていききたい。

<子育て支援について>

- ・先生達に相談にのってもらい、色々と配慮してもらっている。

<子どもの育ちについて>

- ・親が教えるより、先生方や友達から教えてもらった方が身に付くようで、いろいろなことができるようになってきて、とてもありがたい。
- ・入園当初に比べ心も体も強くなった。大切な時期にたくさんのことを学んだ。胸を張って土崎幼稚園卒園と言いたい。
- ・先生方の指導のおかげで、入園後、子どもの成長を感じて嬉しく思う。(園であったことを話したりやって見せてくれたりしている。)
- ・小学校入学までのびのびとした教育でお願いしたい。

<他の意見について>

- ・親子3代土崎幼稚園に入園できて良かった。
- ・今のままで十分。
- ・運動会の時に机から落ちてしまった子がいたが、その後すぐに先生達が連携して動いていて感心した。

【いただいた要望に対する園としての考え】

1 保育時間が他園より短いのもう少し長くてもよい。

本園は幼保連携認定こども園ですので、「幼保連携認定こども園教育・保育要領」にしたがって「満3歳以上の園児の教育課程は年間39週を下ってはならないこと」「1日の教育課程に係る教育時間は、4時間を標準とする。ただし、園児の心身の発達の程度や季節などに適切に配慮するものとする。」とあります。他園と比較することなくご理解をいただきましたと思います。

2 長期休み前の午前保育が少し長いかと思えます。

学期末に会議や研修等を行っていたため、午前保育の協力をいただいております。来年度以降は、改めて検討させていただきます。

3 園だより等の大事なお知らせが、1枚に詰め込まれているように思う。大事な所は何度も伝えたり、目立つように工夫したりしてほしい。

園だよりや他の連絡等の大事なお知らせについては、プリントを見やすいサイズにしたり重点的に別紙でお渡ししたりするなどの工夫をして分かりやすくなるよう心がけていきたいと思えます。

4 おにぎりデーでは、帰宅後すぐに何か食べたがるため、プリンやヨーグルトより味噌汁の日を増やしてほしい。

本園では調理室がなく調理する人はいないこども園です。子どもたちを思って月に一度だけでも味噌汁を飲ませたいという思いで実施しているものです。確約はできませんが、子どもたちの様子を見ながら、引き続き味噌汁の日を考えていきたいと思えます。

5 来年度、外での活動・自然と触れ合う活動をたくさんしていただきたい。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため親子遠足等が実施できず、園外保育を多く取り入れてきました。新しい試みで園外保育や体験活動は、子どもたちにとって心身の健康を保ち心を育てていくためにはとても大切なものであると感じています。来年度も多く取り入れていきたいと考えています。

6 子ども達が体を動かす体操教室など、外部からきて教えてもらえたら嬉しい。

例年であれば英語教室や茶道教室等、外部の先生方に指導していただく教室を行っていましたが、今年度はコロナ禍のため、すべて行うことができませんでした。来年度も状況を見ながらの実施となります。教室は学びの場になりますが、お子さんによっては負担を感じることもあります。子ども達にとって一番大切な遊びの場やクラスの活動に支障のないよう計画していきたいと思っています。

7 色々な仕事の職場見学ができれば、社会の仕組みであったり、働く大人の姿を見たりすることで、社会性がより身につくのではないかと思います。

以前は地域の公的施設等へ訪問していましたが、先方の受け入れが難しくなり中止しておりました。コロナが落ち着きましたら、改めて検討させていただきます。

8 今年は園内の様子があまりわからなかったが、異年齢児との交流が少なかったのではないだろうか。

感染拡大防止ため大集団での異年齢一緒の行事や活動は、日を替えたり時間をずらしたりして、できるだけ密にならないよう工夫して行っているため交流は少なくなっていますが、遊びの場面では学年やクラス関係なく自由にいろいろな場所で遊びを通して交流をしています。

今年度は参観日や懇談会が少なく子ども達の様子を見たり話を聞いたりする機会がとても少なく、本園のホームページに写真等を掲載し、園で様子を発信してきましたが、今後も引き続き園日より等と合わせてお伝えしていきたいと思っています。

9 降園時の園庭での遊び、園庭から道路に出るときや横断歩道の渡り方など見ていてとても危険を感じている。

子どもの命に関わることなので、12月23日付で「お子様を守るための降園時のお願い」のプリントを配布してご理解とご協力をお願いしています。